

〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	□1節□9項 都市景観
担当課・係名	計画課 都市整備係【問合せ・質問等の先（内線番号） 315 番】		

業務の名称	都市景観に関する業務						
(1) 根拠法令・条例	景観法、長久手町美しいまちづくり条例						
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の__20% (係の総業務量を100%とする) 職員延人数：161人・日 (臨時雇用者延人数：__人・日)						
(3) 事業費 (人件費分を除く)	2,100千円 (平成19年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))						
(4) 補助率 (補助金がある 場合のみ記載)	__0.0% (平成19年度実績)						
(5) 業務期間	開始した年度	17年度	終了 (予定) 年度	20年度			
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)							
①□業務目的 (達成目標)	景観策定委員会において、景観形成の目標や方針基準等を検討し長久手町景観計画 (案) を策定する。						
②業務が対象とする住民 (地域、層)	町内全域						
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成19年度実績)	町民公募3名、専門家3名、学識経験者3名で構成する景観計画策定委員会を組織し、計画内容の検討を行い計画案の作成を実施した。						
④業務の実施結果 (平成19年度実績)	景観計画策定のため、委託業務を発注し、計画案を策定した。						
	【業務結果の説明指標】						
		結果の説明指標	17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
1	アンケート、写真募集などの現況把握		3,465				
2	景観計画案作成			3,789			
3	ガイドライン作成				2,100		
4							
5							
⑤業務の成果 (業務目的の達成状況) (平成19年度実績)	今後の景観ガイドラインの策定ができた。						
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】						
		成果の説明指標	17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
1	アンケート、写真募集などの現況把握		実施				
2	景観計画案作成			実施			
3	ガイドラインの作成、パブコメ				実施		
4							
5							

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

住民の景観に対する意識は多種多様であり、景観計画による規制内容をまとめるのに苦慮する。
ガイドラインを作成するにあたり、基準をまとめるのに地域により違うので、苦慮する。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

住民の意見を広く聴くため、アンケート、風景写真の募集、住民による風景探検隊などを行った。また、委員会の委員の住民公募を行った。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4点
		平均 3.2点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none">1. 前年度と同じく、そのまま継続する。2. 見直して継続（業務の拡大）3. 見直して継続（業務の縮小）④見直して継続（方法の改善）5. 見直して継続（他業務と統合）6. 廃止する。7. 休止する。
②評価理由	景観計画（案）及びガイドラインが作成され今後は条例を策定するため

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

景観計画の規制内容を適切に実施するため、条例化を行う。また、事務体制の強化をする必要がある。